

責任ある鉱物調達シンポジウム

- 主催：責任ある鉱物調達検討会
- 担当部署：国際部
- 参加者数：約250名



概要

紛争鉱物問題に先駆的に取り組むJEITA主催の講演会ということで、多数の聴講者に来場いただきました。弁護士によるSEC規則の解説と電子業界の当事者から紛争鉱物問題の取組みが説明されたため、登壇者と聴講者の間で、企業が困っている実務上の問題についても質疑応答が活発に行われました。

来賓挨拶として、経済産業省のご担当官から、OECD紛争鉱物ガイダンスの概要と、その運用システムをより良くするためのOECDの取り組み、日米経済調和对話のプロセスでも紛争鉱物がテーマになっていることなどご紹介いただきました。

加藤弁護士からは、SEC規則が解説され、紛争鉱物の定義、対象となる企業、情報の開示方法、合理的な原産地確認、デューデリジェンスについて説明が行われました。



責任ある鉱物調達検討会の主査と委員からは、EICC/GeSIテンプレートの使用推奨など責任ある鉱物調達検討会の活動紹介、OECDパイロット調査についての取り組み、CFSプログラムや紛争鉱物報告テンプレートの仕組みなどを紹介しました。

プログラム

○開会の挨拶

電子情報技術産業協会（JEITA）常務理事 長谷川英一氏

○来賓のご挨拶

経済産業省 通商政策局 国際経済課 課長補佐 下井正毅氏
経済産業省 通商政策局 米州課 課長補佐 下川徹也氏

○責任ある鉱物調達検討会の活動

JEITA責任ある鉱物調達検討会 主査 牛島慶一氏（日立製作所）

○SEC最終規則の解説

Holzworth & Kato PC 弁護士 加藤芳洋氏

○OECDパイロットの取り組みについて

JEITA責任ある鉱物調達検討会 委員 有川倫子氏（パナソニック）

○EICC/GeSIによる紛争鉱物の取り組み

JEITA責任ある鉱物調達検討会 委員 永井朝子氏（ソニー）



加藤弁護士